

命のぬくもり

感じていますか？

一編の詩を紹介します。

いのちほびにじゅっ

いのちはどこ？って聞くと
心臓を指す人が多いんだって

心はどこって聞くと

やっぱり心臓を指す人が多いんだって

いのちと心は同じなんかなあ…？

だから、心がつらくなると

「生きていることがつらい」って

思うんかなあ？

でも、つらいときがあったって

胸の鼓動は確かに感じる

生きている自分がここに

毎日、新しい自分が生まれる

つらかった昨日、かなしかったおととい

全部ありだけど

今日！「ここで生きてる！」って

大声で叫んでいい

それがあなたのいのち

それがわたしのいのち

みんなおなじ

みんな生きてる

自分のこと好きですか？

なんでこうなんやろう

なんであの子みたいに

頭ええことないのやろう

なんであの子みたいに

カワイくないのやろ

なんでなにやっても

うまいこといかへんのやろ

なんにもおもしろいことないやんか

私なんかおらんようになって

誰も気がつかへんのとちがうか

そやけど

ちよつと思ふんや

今日あの子に「おはよう」って言うたら

笑顔で「おはよう」って返してくれた

何かほわんとうれしい気分

ええことひとつあったやん

明日もひとつみつかるかもな

何かええこと見つかるかもな

一日ひとつ見つけていけば

一年たったらけっこうあるやん

そんな自分もなかなかええやん

引用

兵庫県教育委員会発行人権パンフレット

「かけがえのないあなただから」より

引用

兵庫県教育委員会発行人権パンフレット

「かけがえのないあなただから」より

市人権推進課(教育庁舎1階)

☎32・2122 / FAX 33・3525

Mail:jinkenuisshin@city.komatsushima.

itokushima.jp

市民文芸 花みずき歌壇 (333) 松並敦子・選

うめ、つばき、水仙、菜の花ながめきて今日の終わりを
明るく飾る

ひのみね総合療育センター 関 政明

《評》体調がよく、天気の良い日は車椅子で外出するのは関さんの楽しみの一つ。風も日差しも心地よい早春のある日、気の向くままに「うめ、つばき、水仙、菜の花」と一つ一つの花に立ち止まり眺める姿に、花々もきつと歓迎してくれただろう。室内ばかりの生活のストレスやもやもやも消えて、すっきりした気持を「今日の終わりを明るく飾る」と表現、こんなところにも小さな幸せはあると気付かされる歌である。

桜咲く日は遠からず共に見ん花こそよけれ敷島の花

田浦町 西 照子

「おかわり」の音が弾けて久々に困んではみだす小さき食卓

横須町 山崎 泰子

春めいていずこともなく裸木が活気づいたと話かけくる

榊町 松下 玉枝

赤と黒のツートンカラーの自動車は若葉マークで孫の運転

田浦町 太田カツミ

少しだけ浮いた気持で春を待つ梅の蕾も開花を急ぐ

中田町 倉橋 正則

やわらなる日差しに浮かれ足の向く日赤の庭の蜂須賀桜

神田瀬町 大西カヲル

葉桜となりたる山に登りきて竹の子掘ればウグイスの鳴く

立江町 森本 幸子

目覚めれば思い出せない夢なれど涙の跡が頬に残れり

立江町 大西 和美

玄関に曾孫の忘れしシャボン玉空の彼方へ届けと吹きぬ

横須町 福島 夢栄